

平成29年度天皇誕生日祝賀レセプション
大使挨拶

2017年11月28日

皆様、こんばんは。

本日は、皆様をお迎えし、天皇誕生日祝賀レセプションを盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。天皇陛下は、本年12月23日をもって満84歳になられ、皇后陛下とともに日々公務に励まれております。本日もご臨席いただいた方々に心から感謝申し上げます。

さて、私は今年の8月に駐ブラジル日本国大使として着任致しました。私は外務省入省以来、長年、多くの機会にブラジル、中南米に関わる仕事をしてきました。

日本とブラジルは、基本的価値と原則を共有する重要なパートナーであり、両国の間には伝統的友好協力関係と日系社会を通じた「特別な人的絆」が存在しています。2014年に安倍総理がブラジルを訪問された際、私は中南米局長として同行しましたが、その時の首脳間で日ブラジル両国の「戦略的グローバル・パートナーシップ」が合意されました。私は、今後も「戦略的グローバル・パートナーシップ」強化に向けて、政治、防衛、経済、科学技術、教育・文化・スポーツ交流など多岐にわたる分野で、両国間の協力を一層進めていく所存です。

日本とブラジルの間には豊かなスポーツや文化の交流の歴史があります。

昨年のリオオリンピックでは、安倍総理がスーパーマリオに扮して降り立ち、リオから東京へオリンピックのバトンが渡されました。「リオから東京へ」をモットーにスポーツ分野の交流を促進したいと考えています。

ブラジルでは、柔道がとても盛んです。日本は、ブラジルの公教育に柔道を導入するためのプロジェクトに協力しており、9月にはブラジルの柔道指導家たちが日本に招へいされました。去る8月のハンガリーでの柔道世界選手権団体戦では、日本が金メダル、ブラジルが銀メダルを獲得しました。在ブラジル日本大使としては東京オリンピックでも同じ結果が繰り返されることを期待しています。

和食もブラジルの人々にますます愛されるようになっていきます。本日はバラティ豊かな和食をご用意しております。ぜひご賞味ください。また、日本酒の

コーナー及び5日前に届いたばかりの新米コーナーも設けております。ぜひこの機会に新たな和食と日本酒の魅力も発見していただければと思います。

また、来年は日本人移住110周年を迎えます。今日のブラジルにおいて、日系社会は約190万人を数えます。日本国内にも約18万人のブラジル人コミュニティがあり、日ブラジル両国は強い人的な絆によって結ばれています。2018年の機会に行われる様々な行事を通じて、日ブラジル交流を一層広げていきたいと思っております。

さて、2015、16年のマイナス成長の時期を経て、ブラジル経済には明るさが戻ってきました。日ブラジルの経済関係も来年は一層の発展が期待されます。現在ブラジルでは約700社の日本企業が活動しており、その会社一つ一つが、日ブラジル経済関係促進の中心的役割を担っています。本日はその中からヤクルト、キッコーマン、NEC、FUJIFILM、新日鐵住金の5社に、展示スペースにて製品・サービスを紹介頂いておりますので、是非ご覧ください。

最後に、ご列席の皆様のご繁栄、日伯関係の更なる発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(了)